

日医発第 629 号（地 I 171）

平成 29 年 9 月 27 日

都道府県医師会会長 殿

日本医師会会長

横 倉 義 武

日本看護協会「看護職員の多様なキャリアと働き方実態調査」について

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて今般、日本看護協会より本会に対して、標記調査についての周知方依頼がありました。

本調査は、厚生労働省の委託事業として行うもので、看護職員の多様な働き方のモデルを作成するにあたっての基礎資料とするとのことでもあります。

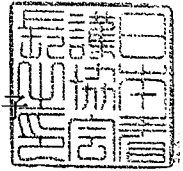
調査はインターネットを用いた個人調査で、看護職免許保持者を対象に行う（就業中か否かを問わない）とのことでもあります。調査回答期間は、平成 29 年 9 月 22 日より 10 月 13 日となっています。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただきますとともに、貴会管下郡市区医師会等への周知方につきまして、ご高配賜りますようよろしくお願い申し上げます。

日看協発第 509 号
平成 29 年 9 月 21 日

日本医師会
会長 横倉 義武 様

公益社団法人 日本看護協会
会長 福井 トシキ



「看護職員の多様なキャリアと働き方 実態調査」へのご協力をお願い

日頃より本会事業にご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、「看護職員の多様なキャリアと働き方 実態調査」(平成 29 年度厚生労働省委託事業 看護職員の多様なキャリアパス周知事業)を下記の通り実施いたします。

地域包括ケアの推進や地域医療構想の実現に向けて、看護職員の数の確保とともに活躍する場の多様化に対応することが求められております。本事業では、看護職員の多様な働き方のモデルを作成し、看護職や看護学生に向けて周知することにより、看護職自身に働き方の選択肢は多岐にわたることを認識してもらい、自身のライフサイクルやライフスタイルに合わせた柔軟な働き方を選択し、キャリアの継続や新たなキャリア形成につなげていくことを目的としております。

看護職員の多様な働き方のモデルを作成するにあたり、現在就業中かどうかに関わらず全ての看護職を対象とし、どのようなキャリアをたどっているのか等の実態を明らかにし、看護職員の多様な働き方のモデルを作成する基礎資料といたします。

つきましては、各会員施設・事業所においてアンケート調査の周知にご協力頂きますよう、お願い申し上げます。

記

調査概要：別紙 1

調査目的：看護職を対象に、どのようなキャリアをたどっているのか、もしくはライフサイクルに応じてどのようにキャリアを形成しているのかの実態を把握する。

調査対象：現在就業中かどうかに関わらず全ての看護職を対象とする
看護職(保健師・助産師・看護師・准看護師)

調査時期：平成 29 年 9 月 22 日～10 月 13 日

【担当部署】

公益社団法人 日本看護協会 労働政策部

担当：泊野・ポズナー

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2

Tel:03-5778-8553 Fax:03-5778-5602

E-mail:kangorodo@nurse.or.jp

【別紙】

平成 29 年度厚生労働省委託事業 「看護職員の多様なキャリアと働き方 実態調査」概要

1.調査の目的

平成 29 年度 厚生労働省委託事業「看護職員の多様なキャリアパス周知事業」において、地域包括ケアの推進や地域医療構想の実現に向けて、看護職員の数の確保とともに活躍する場の多様化に対応することが求められております。

この事業は、看護職員の多様な働き方のモデルを作成し、看護職や看護学生に向けて周知することにより、看護職自身に働き方の選択肢は多岐にわたることを認識してもらい、自身のライフサイクルやスタイルに合わせた柔軟な働き方を選択し、キャリアの継続や新たなキャリア形成につなげていくことを目的としております。

看護職員の多様な働き方のモデルを作成するにあたり、現在就業中かどうかに関わらず、全ての看護職を対象とし、どのようなキャリアをたどっているのか、もしくはライフサイクルに応じてどのようにキャリアを形成しているのかの実態を明らかにし、看護職員の多様な働き方のモデルを作成する基礎資料と致します。

2.調査方法

- ・ 調査はインターネットを用いた個人調査です。調査画面へのアクセス手順は 2 つの方法があります。

①URL を直接入力する方法

下記 URL にインターネットでアクセスいただくと調査画面が出ます。

<https://jmar.post-survey.com/nurse/> ※URL はすべて半角英数で入力ください。

②「日本看護協会」のホームページからアクセスする方法

日本看護協会ホームページトップ画面にある「新着情報」からアクセスできます。

- ・ 調査画面上において、下記（自由意思に基づくご回答のお願い、匿名性の確保、倫理的配慮、個人情報保護）についてのご説明をしていますので、調査ご協力依頼に際して施設長様からの改めてのご説明は不要です。

3.調査回答期間

平成 29 年 9 月 22 日(金)9:00～平成 29 年 10 月 13 日(金)23:59

4.調査対象

看護職免許保持者（保健師・助産師・看護師・准看護師）

5.自由意思に基づくご回答のお願い

調査につきましては自由意思によるご協力をお願いするものであり、調査にご協力いただけない場合にも、不利益が生じることはございません。

6.匿名性の確保

調査より得られたデータは施設や個人が特定できないように統計処理をいたしますので、ご回答いただきました皆様にご迷惑をおかけすることは一切ございません。

7.倫理的配慮

本調査は日本看護協会研究倫理委員会による倫理審査を受け、承認されております。

8.個人情報保護

ご回答いただいた調査票は、本会が個人情報保護契約（機密保持契約）を締結した調査委託業者により回収され、一定期間後に本会が適切な方法を用いて廃棄いたします。

9.結果の公表

調査結果を平成 30 年 3 月に厚生労働省に報告し、あわせて「看護職員の多様なキャリアパス周知事業」報告書に掲載する予定です。

【回答画面の操作方法に関するお問い合わせ先】(調査委託業者)

株式会社 日本能率協会総合研究所 アンケート調査係

専用ダイヤル 0120-317-444 (フリーダイヤル)

お問い合わせ時間 平日 10:00～12:00、

13:00～17:00 (12:00～13:00 を除く)

【調査内容・趣旨に関するお問い合わせ】(事務局)

公益社団法人 日本看護協会

労働政策部 看護労働課 担当：泊野・ポズナー

TEL:03-5778-8553 E-mail : kangorodo@nurse.or.jp

「看護職員の多様なキャリアと働き方」実態調査について

1. 目的

平成 29 年度 厚生労働省委託事業「看護職員の多様なキャリアパス周知事業」において、地域包括ケアの推進や地域医療構想の実現に向けて、看護職員の数の確保とともに活躍する場の多様化に対応することが求められている。

この事業は、看護職員の多様な働き方のモデルを作成し、看護職や看護学生に向けて周知することにより、看護職自身に働き方の選択肢は多岐にわたることを認識してもらい、自身のライフサイクルやスタイルに合わせた柔軟な働き方を選択し、キャリアの継続や新たなキャリア形成につなげていくことを目的としている。

看護職員の多様な働き方のモデルを作成するにあたり、現在就業中かどうかに関わらず、全ての看護職を対象とし、どのようなキャリアをたどっているのか、もしくはライフサイクルに応じてどのようにキャリアを形成しているのかの実態を明らかにし、看護職員の多様な働き方のモデルを作成する基礎資料とする。

2. 対象

看護職免許保持者(保健師・助産師・看護師・准看護師)

3. 調査項目

属性	① 都道府県 (SA) ② 年齢 (数量) ③ 性別 (SA) ④ 子どもの有無 (SA) ⑤ 子どもの人数 (数量) ⑥ 一番下の子どもの年齢 (SA) ⑦ 介護を必要とする家族の有無 (SA) ⑧ 主たる介護者かどうか (SA) ⑨ 取得免許 (MA) ⑩ 上記以外の所有資格 (MA) ⑪ 専門学歴 (MA) ⑫ 現在の勤務状況 (SA)
これまでのキャリア	① 看護職通算経験年数 (数量) ② 1年以上の無業期間の有無 (SA) ③ 無業の理由 (MA) ④ これまでの単発アルバイトの有無 (SA) ⑤ 単発アルバイトを選んだ理由・経緯 (MA)

	<ul style="list-style-type: none"> ⑥ これまでの就業施設数 (SA) ⑦ 勤務施設種別 (SA) ⑧ 勤続年数 (SA) ⑨ 雇用形態 (MA) ⑩ 勤務形態 (MA) ⑪ 職位 (SA) ⑫ 勤務先を選んだ理由・経緯 (MA) ⑬ 転職・転勤・退職をしたきっかけ (MA)
現在の勤務先について	<ul style="list-style-type: none"> ① 勤続年数 (SA) ② 勤務施設種別 (SA) ③ 雇用形態 (MA) ④ 勤務形態 (MA) ⑤ 職位 ⑥ 勤務先を選んだ理由・経緯 (MA) ⑦ 希望する配属先かどうか (SA) ⑧ 勤務継続の意思 (SA) ⑨ キャリア満足 (SA) ⑩ 生活満足 (SA) ⑪ キャリアを考えるためのサポート制度の有無 (SA) ⑫ サポートの内容 (MA)
これからのキャリア	<ul style="list-style-type: none"> ① 看護職としての就業希望年齢 (数量) ② 看護職としての就業意欲 (SA) ③ 今後希望する就業先 (MA) ④ 今後の勤務先で希望する雇用形態 (SA) ⑤ 今後の勤務先で希望する勤務形態 (SA) ⑥ 勤務先を決めるにあたり重要視すること (MA)